

〔お客様へ この説明書は大切に保管してください〕

安全に関するご注意

警告 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

必ず守る 表示された電源電圧・周波数で使用する。
感電・火災の原因となります。

必ず守る 分解や改造はしない。
器具の分解・改造、部品の追加・変更、塗装などはしないでください。
落下・感電・変形・火災の原因になります。

必ず守る お手入れ時やライトバーを外す際は必ず電源を切る。
感電・破損の原因になります。

禁止 器具のすき間に金属や可燃物などを差し込まない。
火災や感電の原因になります。異常を感じた際は専門家（工事店・電気店）に相談してください。

必ず守る 点灯異常の際は電源を切る。
異常を感じたときは速やかに電源を切り、工事店・電気店に相談してください。継続使用すると感電・火災・落下・けがの原因になることがあります。

禁止 破損した器具を使用しない。
器具が破損した状態で使用しないでください。速やかに電源を切り、工事店・電気店に相談してください。継続使用すると感電・火災・落下・けがの原因になります。

禁止 可燃物を近づけたり器具の真下に熱源を置かない。
器具を布や紙などの可燃物でおおったりかぶせたり、可燃性の木製・樹脂製の家具を近づけたりしないでください。また真下に暖房器具などの熱源を置かないでください。変形・変色・火災の原因になります。

注意 誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。

必ず守る 定期的な点検する。
1年に1回外観をチェックし、変形・ひび割れ・ガタツキ・破損がないかを確認してください。異常がある場合は専門家（工事店・電気店）に相談してください。また、3年に1回は専門家（工事店・電気店）による点検をお受けください。設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても劣化は進行します。専門家（工事店・電気店）に相談してください。異常を放置したり、長時間使用を続けると、発煙・発火・感電などの事故が発生する可能性があります。

禁止 光を直視しない。
光源として高輝度LEDを使用しているため、点灯中は光源部（ライトバー）を長時間直視しないでください。目を痛める可能性があります。

禁止 点灯中・消灯直後に触れない。
点灯中や消灯直後は、照明器具が高温になっていることがあるので触れないでください。やけどの原因になります。

必ず守る 屋内の適正温度（5℃～35℃）で使用する。
屋外や高温で使用すると、故障や短寿命の原因になります。

使用上のご注意

- 電源用送り配線は、天井裏を通すことを推奨します。
- 器具の近くで他の機器のリモコン（リモートコントローラ）を操作した場合、誤動作することがあります。器具と他の機器のリモコンを離して使用してください。
- ラジオ、ワイヤレス機器は、なるべく本製品から離して使用してください。雑音が入ったり、誤動作したりすることがあります。
- 照明器具の電源は、電子レンジやコピー機などの高ワット製品とは回路を分けて使用してください。高ワット製品の使用時にちらつくことがあります。
- LED照明は、同一型番でも発光色、明るさが異なることがあります。
- 表示が発光するスイッチに使用した場合、スイッチの発光部が暗くなったり点灯しなかったりすることがあります。
- 照射距離が近いと、光むらが発生する場合があります。

その他のご注意

- 照明器具の取り付けしている場所で硫黄成分があるものを取り扱わないでください。メッキ工場などのように硫黄成分を含むガスなどが該当します。（ほかにも一部の食品や薬品・紙類、車の排気ガスにも硫黄成分が含まれます。）光学性能に影響を与える場合があります。
- 防犯カメラやビデオカメラを介して照射面を見た際、カメラのモニターや録画画像にしま模様やちらつきが見える場合があります。

お手入れ方法

安全に使用するため、以下の方法で定期的に清掃してください

- 清掃する際は必ず電源を切り、器具が冷えたことを確認してから行ってください。
- 照明器具のすき間に金属や可燃物を差し込んで清掃をしないでください。内部に残った場合に、発火や火災の原因になります。
- 清掃には、水または薄めた中性洗剤に浸した柔らかい布をよく絞って拭いてください。そのあと洗剤が残らないように水拭きしてください。
- シンナー、ベンジンなどの揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。破損、変色の原因になります。

YAZAWA

防雨形LEDベースライト40形

この度は当社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
取扱説明書をよくお読みの上、正しく安全にお使いください。

■本体型番

YBKW40CA
YBKW40CB
YBKW40CK
YBKW40CT

■ライトバー型番

明るさ	ノーマルタイプ
5200lmタイプ	YBL4052DAP
4000lmタイプ	YBL4040DAP
2500lmタイプ	YBL4025DAP
2000lmタイプ	YBL4020DAP

※本照明器具は防雨形LEDベースライト本体と専用ライトバーの組み合わせでのみ動作します。

施工説明 工事店様へ この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

※説明の図は製品と一部異なる場合があります。

誤った取り扱いをした場合に生じる危害とその程度を次の区分で説明しています。

警告 「死亡や重傷に結びつく可能性のある内容」です。

注意 「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

お守りいただく内容を、次の絵記号で説明しています。

禁止 してはいけない内容です。

必ず守る 実行していただく内容です。

安全に関するご注意

警告 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

必ず守る 本体およびライトバーを単独で使用しない。必ずLEDベースライト本体と専用ライトバーの組み合わせで使用すること。
破損・落下・感電・火災の原因となります。

必ず守る 施工は、施工説明に従って行い、電源線接続後の絶縁・防水処理を確実に行う。改造はしない。
絶縁・防水処理が不十分の場合、感電・火災の原因となります。

必ず守る 施工は電気工事士の有資格者が電気設備の技術基準・内線規定に従い作業すること。
施工に不備があると、落下・感電・火災の原因となります。

必ず守る ライトバーのカバーは樹脂製のため、強い衝撃を与えたり、蛍光灯の近くなど紫外線の多い場所、有機溶剤が使用する場所では使用したりしない。
カバーの劣化・破損・防水性能毀損の原因となります。
万一、破損した場合、すぐに電源を切り交換してください。

必ず守る 表示された電源電圧・周波数の電源へ取り付ける。
電源電圧・周波数が異なると、感電・火災の原因となります。

必ず守る 取り付け及び保守・点検作業の際は必ず電源を切る。
通電した状態で取り付け工事などを行うと、感電や照明器具が破損する原因になります。

必ず守る 照明器具の質量に耐える振動・衝撃のない場所へ水平に取り付ける。
取り付け部の強度が十分でない・水平以外の取付（傾斜天井・壁への設置など）は、感電・落下・けがの原因になります。

禁止 壁面取り付けで使用する場合は、壁面の電源線・ボルトの貫通穴部を防水シール材などで埋めること。
落下・感電・火災の原因となります。

禁止 浴室など湿気の多い場所には取り付けない。
漏電・感電・火災の原因になります。

注意 誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。

禁止 点灯スイッチは、必ず非接地側（電圧側）に取り付ける。
点灯スイッチは、必ず非接地側（電圧側）に取り付ける。
接地側に取り付けた場合、消灯後もランプが薄暗く発光することがあります。（接地極のない電源では両切りスイッチを使用してください。）

禁止 高温の場所、直射日光の当たる場所には取り付けない。
器具の劣化・腐食・落下の原因になります。

禁止 調光器（ライトコントロール）は取り付け不可。
故障や短寿命の原因になります。

必ず守る 器具の取り付け・取り外しは手袋など保護具を使用してください。
けがのおそれがあります。

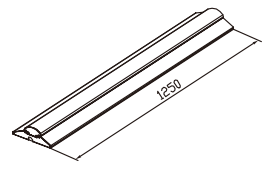
禁止 屋内の適正温度（5℃～35℃）環境に取り付ける。
屋内でも著しい高温の場所へ設置すると、故障や発煙の原因になります。
高温で使用し続けると、故障やちらつき・短寿命の原因になります。

禁止 軒下など雨線内で使用可能。ただし、腐食性ガスが発生する場所、塩害を受ける場所、屋内プールなどの塩素雰囲気さらされる場所、脱臭・殺菌などでオゾンを使用する場所に取り付けない。
腐食や落下・火災の原因になります。

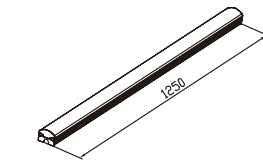
禁止 器具の背面から水がかかる場所では取り付けしない。
落下・感電・火災の原因になります。

本体の種類

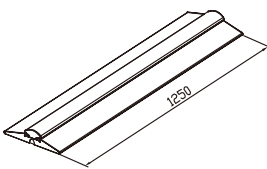
本体型番：YBKW40CA
本体幅：65mm
本体質量：約 0.65kg



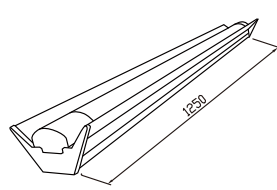
本体型番：YBKW40CT
本体幅：65mm
本体質量：約 0.65 kg



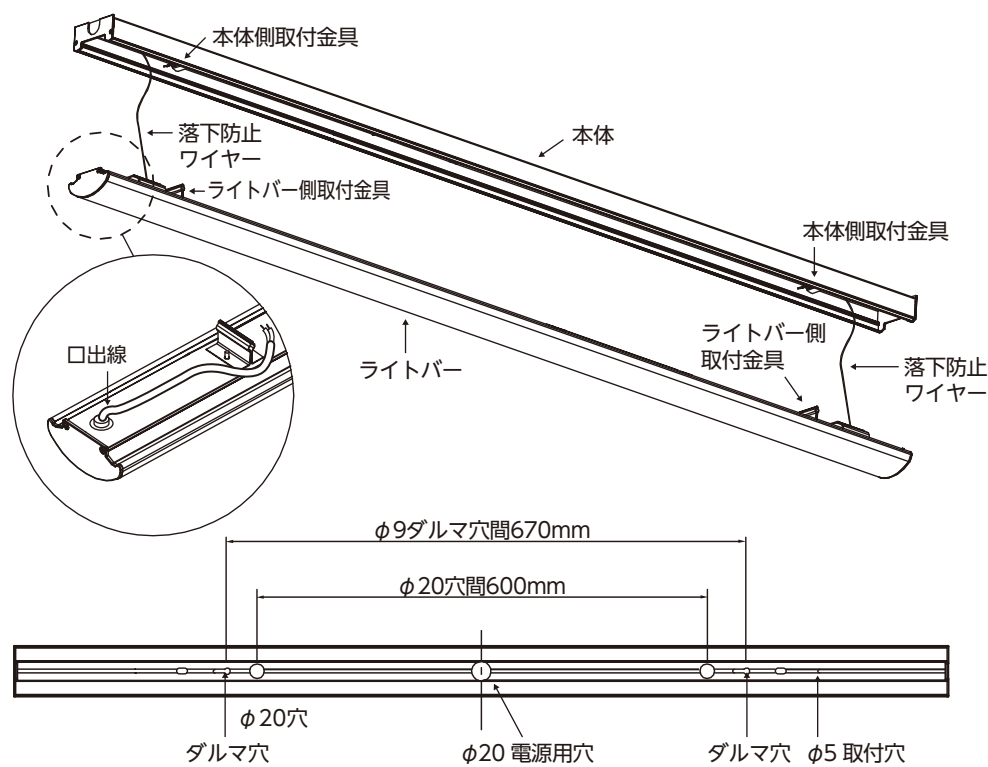
本体型番：YBKW40CB
本体幅：160mm
本体質量：約 1.15kg



本体型番：YBKW40CK
本体幅：230mm
本体質量：約 1.35 kg



各部名称と取付寸法図(上記3型番共通内容)

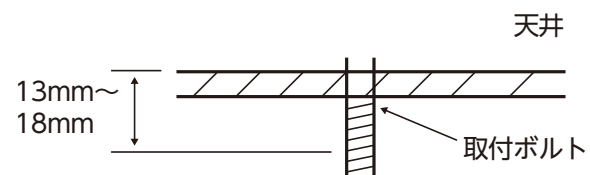


取付前の確認

※器具質量に十分耐えられるよう取付ボルトまたは木ネジ取り付け部の強度を確保する。

- 取付ボルトを使用の場合は、W3/8 またはM10 を使用する。
- 取付ボルトの長さは天井面より13mm~18mmにする。
- 木ネジを使用の場合は、丸木ネジの呼び径4.1以上を使用する。

※ボルトとナットがライトバーに触れると故障の原因になります。

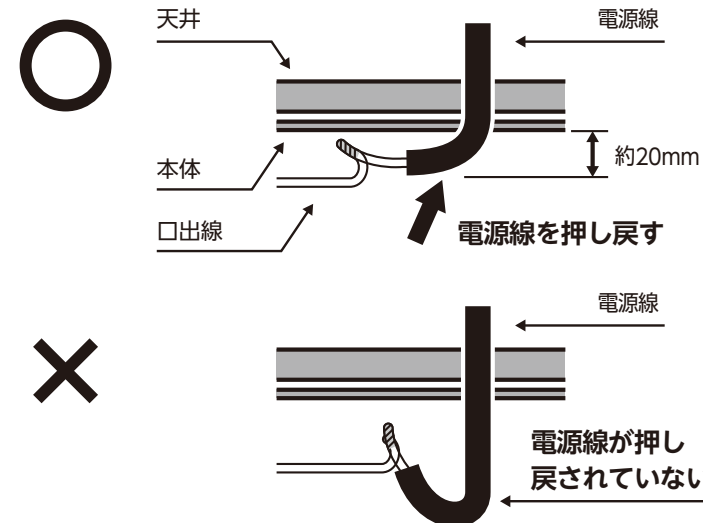
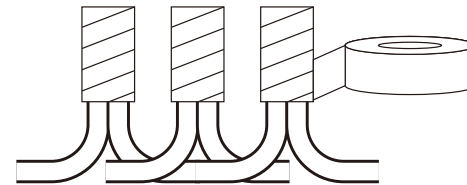


1 本体を取り付ける

- ・電源線、アース線を本体の電源穴から引き込んでおく。
- ・本体を取付ボルトまたは木ネジで確実に取り付ける。

2 電源線・アース線を接続する

- ・ケーブル線と電源線・アース線を確実に接続し、自己融着テープ(別途手配)を巻いてから絶縁テープ(別途手配)を巻いて仕上げ、十分に絶縁・防水処理を施す。
- ※防湿型・防雨型ですので接続部は外部からの完全な絶縁・防水処理が必要です。
- 自己融着テープ(別途手配)を巻きつけ後、絶縁テープを巻く。(別途手配)



- ※電源線接続後、余分な電源線はライトバーとの干渉を防ぐため、電源穴へ押し戻すか、本体側へ電源線をおさえて処理してください。余分な電源線があるとライトバーが垂れ下がり、本体とライトバーの隙間が広がる原因となります。
- ※本体とライトバーとの電線の挟み込みを防止するため、コードキープ(ライトバーに同梱)を使用して、口出線が垂れ下がらないように貼り付けてください。

⚠ 警告

- ・不備があると落下の原因
- ・接続が不完全な場合は火花発生により火災の原因となります

⚠ 注意

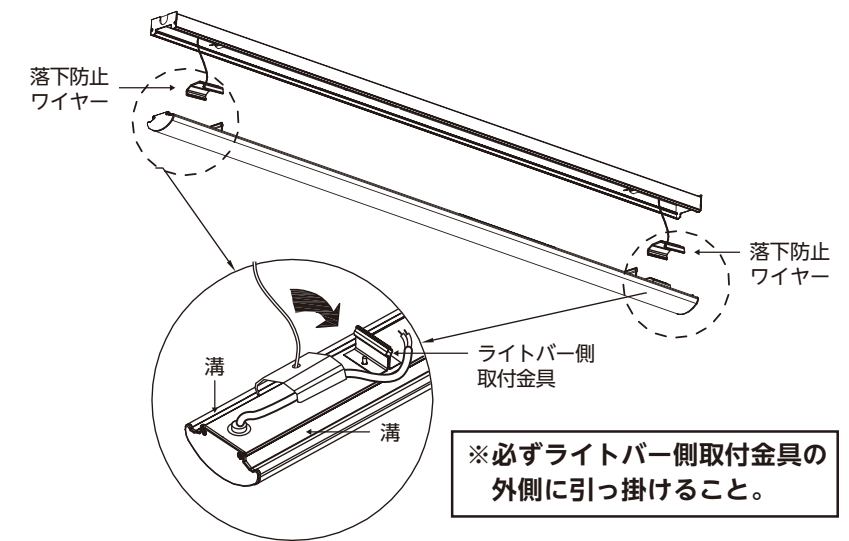
- ・口出線工事は電気設備技術基準の省令第7条および、同解釈2条に従うこと

※D種(第三種)接地工事が必要です。

- ・適合電線：φ1.6mm 単線
φ2.0mm 単線

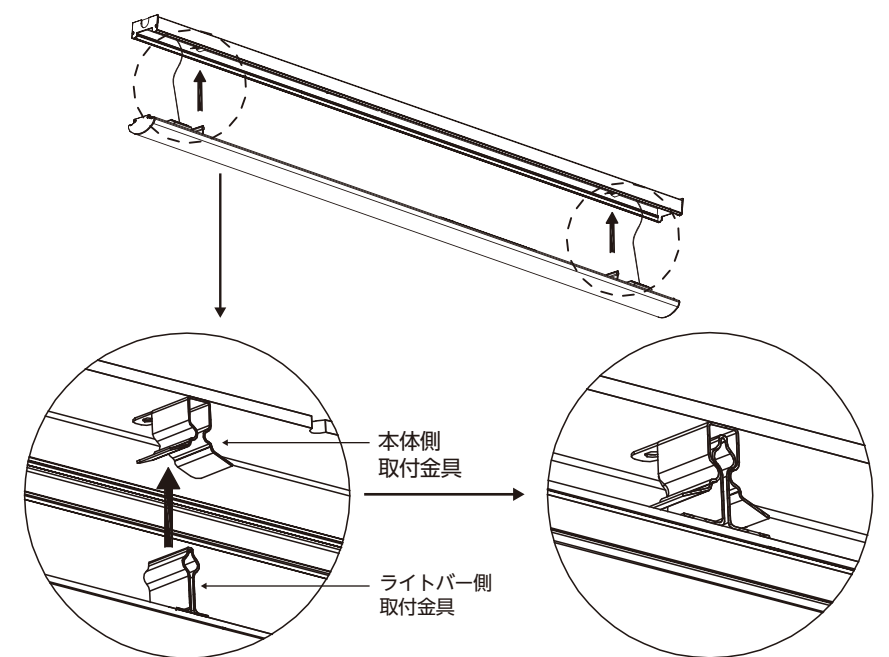
3 ライトバーの引っ掛け

- ・ライトバーの電源が本体の端子台の反対側に取り付くようにライトバーの方向を合わせる。
- ・本体の両端2カ所の落下防止ワイヤーをライトバーの溝に引っ掛ける。



4 ライトバーを取り付ける

- ・本体側取付金具と、ライトバー側取付金具の位置を合わせる。
- ・コネクタケーブルや、落下防止ワイヤーを挟まないように本体内へ押し上げる。
- ・ライトバーを天井の方向に「カチッ」と音が鳴るまで押し込む。



⚠ 警告

不備があると落下の原因

⚠ 注意

- ・ライトバー取り付け後、電線などの挟み込みがないことを確認する
- ・点灯中、消灯直後の本体及び、ライトバーには触れないこと

ライトバーの取り外しは、ライトバーの取付金具部分付近を引き下げて外してください。